

【ご参考資料】

2015年10月15日

## フィアット 500X、米国道路安全保険協会（IIHS）の 安全評価で最高評価を獲得



[米国ミシガン州アーバンヒルズ 2015年10月6日（現地時間）発]

米国道路安全保険協会（IIHS）は本日、「2015年トップ・セーフティ・ピック・プラス（最高評価）」に新型フィアット500Xを指定しました。

IIHSの試験項目：

- 大型SUVまたはピックアップトラックとの側面衝突
- 標準オーバーラップ前面衝突試験
- スモールオーバーラップ前面衝突試験
- 横転時のルーフ強度試験
- 後突頸部傷害保護試験

新型フィアット500Xはすべての試験で最高得点「優」を獲得しました。

\$20,000から提供しているこのスタイリッシュなスモールSUVは、フィアットブランドの代名詞であるイタリア人デザイナーの才能および人々を魅了するドライビングダイナミクスとが融合しています。500Xには高張力鋼が惜しみなく使用されており、衝突時に発生する衝突エネルギーを制御し、キャビンへの侵入を最小限に抑え込むように設計されています。さらに、骨盤から胸部を保護するシート格納式サイドエアバッグ、フルカバーサイドカーテンエアバッグを含む、7個のエアバッグが標準装備されています。

フィアット500X がIIHS衝突安全試験で最高評価を得た理由は、「前面衝突警報」の特徴でもあるフィアット独自のセンサーフュージョン戦略にあります。同システムはEasy（日本ではポップスタープラス以上）以上のモデルに搭載しています。

「前面衝突警報」はカメラとレーダー技術を組み合わせたもので、前面衝突が迫っていることをカメラとレーダーの両方が検知した場合にシステムが作動します。システムが



FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES

PRESS RELEASE



作動すると、まず音とモニター表示で警告し、ドライバーが反応しない場合は、ブレーキが自動介入して、衝突する前に車両を減速させます。

スコット・クンセルマン（ビークル・セーフティ・アンド・レギュラトリー・コンプライアンス ヴァイスプレジデント）は、「\$ 30,000未満の非プレミアムセグメントにてこのような装備を提供するということは、先進安全技術を大衆車にも普及させるというFCAのコミットメントを明確に示すものである」と語っています。

70を超える安全装備のには、さらに以下のようなドライバー支援技術が挙げられます。

- レーンデパーチャーウォーニング（車線逸脱警報）：車線を意図せず逸脱した際、車両の電動パワーステアリングを利用した、ステアリングホイールのトルク入力によりドライバーに警告。同時にステアリングを修正し車両を適正な位置に戻します。
- ヒルホールドシステム：坂道でドライバーがブレーキペダルから足を離しても、一定時間車両ブレーキを保持します。

以上

※ 当報道資料は、2015年10月6日（現地時間）にFCA USが発表したプレスリリースの抄訳です。原文は以下ウェブサイトをご参照ください。

<http://media.fcanorthamerica.com/newsrelease.do?id=17036&mid=467>